

# ヒューマンタッチ総研 Monthly Report

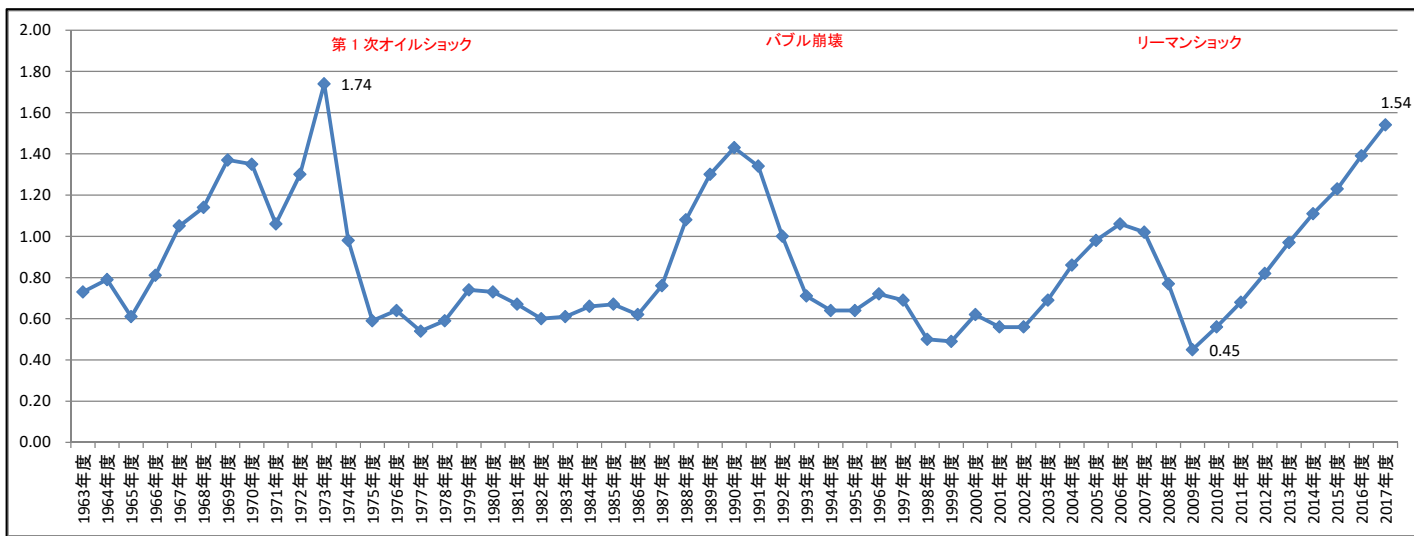
平成 30 年 5 月

## 1 今月のトピックス

### ■2017 年度の平均有効求人倍率は 1.54 倍で、1973 年の 1.74 倍に次ぐ高水準

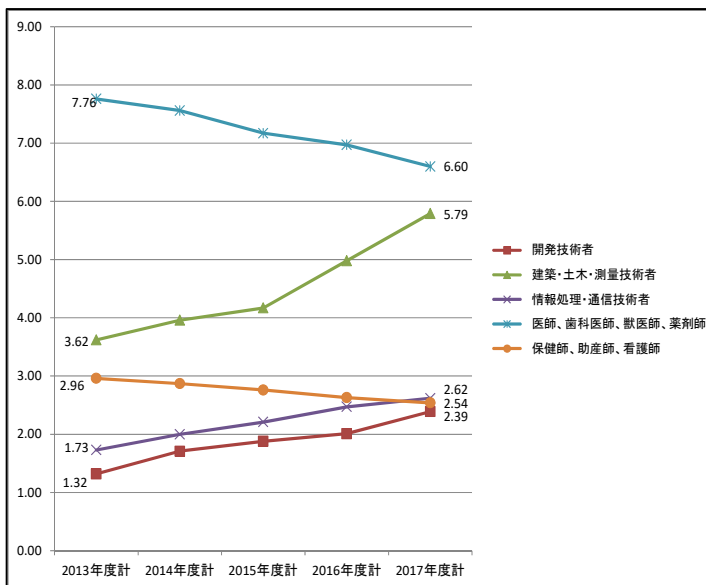
厚生労働省の「一般職業紹介状況」から各年度の平均有効求人倍率の推移を時系列で見ると図表①となります。平均有効求人倍率は 2009 年のリーマンショック後の 0.45 倍を底に一貫して上昇傾向が続き、2017 年度には 1.54 倍にまで上昇しています。これは、1973 年の 1.74 倍に次ぐ高水準であり、景気回復を背景に、雇用環境の改善が続いていることが分かります。

図表① 年度平均の有効求人倍率の推移



出典：厚生労働省「一般職業紹介状況」より作成

図表② 主要職業別有効求人倍率の推移



出典：厚生労働省「一般職業紹介状況」より作成

### ■「建築・土木・測量技術者」「開発技術者」「情報処理・通信技術者」の人材需給が逼迫

次に、主要職業別の有効求人倍率の推移を見ると図表②となります。2017 年度で最も有効求人倍率が高いのは「医師、歯科医師、獣医師、薬剤師」の 6.60 倍ですが、2013 年度以降は低下傾向が続いています。「保健師、助産師、看護師」についても低下傾向が続いており、医療関係専門職の人材需給はやや改善されてきています。一方、「建築・土木・測量技術者」の有効求人倍率は 2013 年度の 3.62 倍以降上昇傾向が続き、2017 年度には 5.79 倍に達し、「医師、歯科医師、獣医師、薬剤師」に次ぐ高さになっています。また、開発技術者と情報処理・通信技術者についても、2013 年度以降は一貫して上昇傾向が続いており、人材需給は逼迫してきています。

## 2 2018 年 3 月の雇用関連データのまとめ(2018 年 4 月 27 日公表)

### (1) 主要な雇用環境指標の推移

#### ◆就業者数、雇用者数ともに大幅に増加

就業者数は 6,620 万人(対前年同月比 187 万人増)と 3 か月連続で大幅な増加となり 63 ヶ月連続で前年同月を上回った。雇用者数も 5,872 万人(同 144 万人増)で同じく 63 ヶ月連続で前年同月を上回っており、好調な雇用環境が続いている。

#### ◆完全失業率は前月と同じで 2.5%

完全失業率(季節調整値)は前月と同じで 2.5%となった。完全失業者数は 173 万人(対前年同月比 15 万人減少)で、94 か月連続で前年同月を下回った。

【主要雇用環境指標の推移】

	2017年3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2018年1月	2月	3月
15歳以上人口(万人)	11,107	11,104	11,107	11,108	11,111	11,106	11,112	11,114	11,113	11,103	11,102	11,100	11,100
対前年同月増減(万人)	-2	-3	-2	-4	-3	-4	-1	-3	-4	-8	-8	-5	-7
労働力人口	6,621	6,697	6,757	6,775	6,754	6,762	6,786	6,762	6,730	6,716	6,722	6,744	6,793
対前年同月増減(万人)	41	52	70	42	46	60	60	47	56	33	55	129	172
就業者数(万人)	6,433	6,500	6,547	6,583	6,563	6,573	6,596	6,581	6,552	6,542	6,562	6,578	6,620
対前年同月増減(万人)	69	80	76	61	59	84	74	61	75	52	92	151	187
就業率(15歳以上人口に占める就業者の割合)	57.9%	58.5%	58.9%	59.3%	59.1%	59.2%	59.4%	59.2%	59.0%	58.9%	59.1%	59.3%	59.6%
対前年同月増減	0.6%	0.7%	0.7%	0.6%	0.5%	0.8%	0.7%	0.6%	0.7%	0.5%	0.9%	1.4%	1.7%
雇用者数(万人)	5,728	5,757	5,796	5,848	5,839	5,840	5,866	5,877	5,865	5,863	5,880	5,875	5,872
対前年同月増減(万人)	58	57	57	87	96	97	74	62	86	43	87	121	144
完全失業者数(万人)	188	197	210	192	191	189	190	181	178	174	159	166	173
対前年同月増減(万人)	-28	-28	-7	-18	-12	-23	-14	-14	-19	-19	-38	-22	-15
完全失業率	2.8%	2.8%	3.0%	2.8%	2.8%	2.8%	2.8%	2.8%	2.7%	2.7%	2.4%	2.5%	2.5%

出典:総務省統計局 労働力調査より作成

【ご参考:主要雇用環境指標の年平均値の推移】

	2011年 平均	2012年 平均	2013年 平均	2014年 平均	2015年 平均	2016年 平均	2017年 平均
15歳以上人口(万人)	11,117	11,110	11,107	11,109	11,110	11,111	11,108
対前年増減(万人)	6	-7	-3	2	1	1	-3
労働力人口(万人)	6,596	6,565	6,593	6,609	6,625	6,673	6,720
対前年増減(万人)	-36	-31	28	16	16	48	47
就業者数(万人)	6,293	6,280	6,326	6,371	6,401	6,465	6,530
対前年増減(万人)	-5	-13	46	45	30	64	65
就業率(15歳以上人口に占める就業者の割合)	56.6%	56.5%	57.0%	57.3%	57.6%	58.2%	58.8%
対前年増減	-0.1%	-0.1%	0.4%	0.4%	0.3%	0.6%	0.6%
雇用者数(万人)	5,512	5,513	5,567	5,613	5,663	5,750	5,819
対前年増減(万人)	12	1	54	46	50	87	69
完全失業者数(万人)	302	285	265	236	222	208	190
対前年増減(万人)	-32	-17	-20	-29	-14	-14	-18
完全失業率	4.6%	4.3%	4.0%	3.6%	3.4%	3.1%	2.8%

出典:総務省統計局 労働力調査より作成

#### ◆就業者数が最も増加したのは「サービス業(他に分類されない)」、次いで「宿泊業・飲食サービス業」

「卸売業・小売業」以外のすべての産業で就業者は増加した。最も増加したのは「サービス業(他に分類されない)」、次いで「宿泊業・飲食サービス業」となった。

【主要産業別の就業者数・雇用者数】

		農業・林業	建設業	製造業	情報通信業	運輸業 郵便業	卸売業 小売業	金融業 保険業
就業者	実数(万人)	204	501	1,081	225	337	1,053	167
	対前年同月増減	26	13	15	13	6	-1	1
雇用者	実数(万人)	54	405	1,032	215	325	975	164
	対前年同月増減	2	8	17	12	5	8	2

		不動産業 物品賃貸業	学術研究 専門・技術 サービス業	宿泊業 飲食サービス 業	生活関連 サービス業 娯楽業	教育 学習支援業	医療・福祉	サービス業 (他に分類 されない)
就業者	実数(万人)	133	235	417	232	312	799	455
	対前年同月増減	4	4	31	5	5	6	38
雇用者	実数(万人)	116	175	359	181	289	768	404
	対前年同月増減	2	-1	33	2	9	8	34

出典:総務省統計局 労働力調査より作成

◆正規社員数は 40 カ月連続で前年同月を上回り 3,417 万人となる

正規の職員・従業員数は 3,417 万人(対前年同月比 41 万人増)となり 40 ヶ月連続で前年同月を上回った。非正規の職員・従業員数は 2,111 万人(同 113 万人増)と大幅な増加となり、非正規社員の比率は 38.2%で前年同月より 1.0 ポイント上昇した。

【雇用形態別雇用者数の推移】

	2017年3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2018年1月	2月	3月
役員を除く雇用者数(万人)	5,375	5,404	5,441	5,505	5,497	5,476	5,511	5,525	5,518	5,522	5,566	5,551	5,528
正規の職員・従業員(万人)	3,376	3,400	3,437	3,457	3,429	3,421	3,483	3,485	3,456	3,441	3,447	3,430	3,417
構成比	62.8%	62.9%	63.2%	62.8%	62.4%	62.5%	63.2%	63.1%	62.6%	62.3%	61.9%	61.8%	61.8%
対前年同月増減(万人)	26	14	50	68	60	56	76	68	88	50	40	33	41
非正規の職員・従業員(万人)	1,998	2,004	2,003	2,046	2,068	2,054	2,028	2,041	2,061	2,081	2,119	2,120	2,111
構成比	37.2%	37.1%	36.8%	37.2%	37.6%	37.5%	36.8%	36.9%	37.4%	37.7%	38.1%	38.2%	38.2%
対前年同月増減(万人)	17	33	5	23	35	18	-2	5	20	9	72	115	113

出典:総務省統計局 労働力調査より作成

◆完全失業率(季節調整値)は「25 歳～34 歳」の男性で最も悪化

男性の完全失業率は 2.7%で前月より 0.1 ポイント上昇、女性の完全失業率は 2.3%で前月と同じであった。

年齢層別・男女別に完全失業率を見ると、「25 歳～34 歳」の男性が対前年同月比 0.9 ポイント上昇で 4.3%となり、最も大幅な悪化となった。最も改善されたのは 15 歳～24 歳の女性で前月より 0.6 ポイント低下して 2.8%となった。

【年齢階級別・男女別完全失業者数・完全失業率】

年齢階級	完全失業者数 (万人)	対前年同月増減 (万人)	完全失業率 (季節調整値)	対前月増減 (ポイント)
総数	173	-15	2.5%	0.0
(男)	103	-8	2.7%	0.1
(女)	69	-8	2.3%	0.0
15歳～24歳	25	-2	3.8%	-0.4
(男)	15	2	4.8%	-0.2
(女)	10	-4	2.8%	-0.6
25歳～34歳	44	0	4.0%	0.6
(男)	26	2	4.3%	0.9
(女)	18	-2	3.6%	0.2
35歳～44歳	35	-6	2.3%	-0.1
(男)	20	-5	2.2%	0.0
(女)	15	-1	2.3%	-0.3
45歳～54歳	30	-3	2.1%	0.1
(男)	17	-2	2.1%	0.0
(女)	13	-1	2.0%	0.1
55歳～64歳	26	-4	2.2%	0.0
(男)	16	-4	2.3%	0.0
(女)	10	0	2.1%	0.2
65歳以上	13	0	1.5%	0.2
(男)	9	-2	-	-

出典:総務省統計局 労働力調査より作成

◆「勤め先や事業の都合による離職」の減少傾向が続く

完全失業者を求職理由別に見ると、「勤め先や事業の都合による離職」が 22 万人で対前年同月比 5 万人の減少となり、62 カ月連続で前年同月を下回った。また、自発的な離職(自己都合)も同 4 万人の減少で 73 万人となった。

【求職理由別完全失業者数の推移】

	2017年3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2018年1月	2月	3月
勤め先や事業の都合による離職(万人)	27	30	29	28	30	27	31	33	28	30	24	20	22
対前年同月増減(万人)	-10	-9	-7	-7	-5	-8	-2	-1	-1	-2	-9	-9	-5
定年または雇用契約終了による離職(万人)	20	22	26	22	19	20	18	18	20	18	15	15	16
対前年同月増減(万人)	-4	-7	-3	0	0	-4	-6	-2	1	-2	-6	-5	-4
自発的な離職(自己都合)(万人)	77	83	91	81	87	89	88	77	73	75	67	72	73
対前年同月増減(万人)	-5	-5	3	-6	-1	-4	0	-6	-12	-10	-19	-7	-4

出典:総務省統計局 労働力調査より作成

(2)有効求人倍率・新規求人倍率・正社員求人倍率の推移

◆有効求人倍率は前月より 0.01 ポイント上昇して 1.59 倍となる

公共職業安定所(ハローワーク)における有効求人倍率(季節調整値)は前月より 0.01 ポイント上昇して 1.59 倍となった。先行指標となる新規求人倍率(季節調整値)は 2.41 倍で、前月と比べて 0.11 ポイント上昇しており、人材の需給関係は今後も厳しくなりそうである。また、正社員の有効求人倍率は 1.08 倍で、前月より 0.01 ポイント上昇した。

【有効求人倍率(パートタイムを含む/季節調整値)の推移】

	2017年3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2018年1月	2月	3月
有効求人倍率(倍)	1.45	1.47	1.49	1.50	1.51	1.52	1.53	1.55	1.56	1.59	1.59	1.58	1.59
新規求人倍率(倍)	2.14	2.17	2.28	2.24	2.26	2.22	2.27	2.35	2.34	2.38	2.34	2.30	2.41
正社員有効求人倍率(倍)	0.94	0.97	0.99	1.01	1.01	1.01	1.02	1.03	1.05	1.07	1.07	1.07	1.08

出典:厚生労働省「一般職業紹介状況」より作成

(3)職業別有効求人倍率の推移

◆公共職業安定所(ハローワーク)における専門的・技術的職業の有効求人倍率は対前年同月比 0.19 ポイント上昇して 2.15 倍となり、専門職・技術職の人材不足の状況が続いている

◆最も有効求人倍率が上昇したのは「建設・採掘の職業」であり、対前年同月比で 0.91 ポイント上昇して 4.68 倍となった

◆次いで、「建築・土木・測量技術者」が対前年同月比で 0.69 ポイント上昇して 6.11 倍となった

◆専門的・技術的職業の中でも、特に建設関連の技術者、建設技能工等の人材需給が逼迫してきている

【職業別有効求人倍率(除パート)の推移】

	2017年3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2018年1月	2月	3月
職業計	1.21	1.16	1.16	1.21	1.25	1.28	1.32	1.35	1.39	1.46	1.45	1.43	1.37
専門的・技術的職業の有効求人倍率	1.96	1.82	1.83	1.94	2.02	2.07	2.13	2.18	2.28	2.43	2.37	2.28	2.15
開発技術者	2.10	2.03	2.06	2.23	2.29	2.35	2.42	2.45	2.55	2.68	2.62	2.61	2.55
建築・土木・測量技術者	5.42	4.92	4.89	5.17	5.54	5.68	5.88	6.03	6.38	6.66	6.50	6.42	6.11
情報処理技術者	2.53	2.46	2.41	2.55	2.55	2.58	2.58	2.67	2.73	2.82	2.77	2.72	2.60
医師、歯科医師、獣医師、薬剤師	7.07	6.55	6.55	6.52	6.53	6.27	6.21	6.45	6.77	7.24	6.96	6.78	6.50
保健師、助産師、看護師	2.61	2.32	2.29	2.41	2.45	2.45	2.49	2.54	2.69	2.95	2.83	2.71	2.51
医療技術者	2.87	2.50	2.41	2.60	2.77	2.82	2.89	2.93	3.03	3.21	3.17	3.16	2.94
その他の保健医療の職業	1.59	1.50	1.50	1.59	1.68	1.76	1.84	1.94	2.01	2.08	2.03	1.98	1.86
社会福祉専門の職業	2.48	2.22	2.29	2.51	2.69	2.83	2.98	3.06	3.21	3.47	3.34	3.08	2.84
美術家、デザイナー、写真家	0.48	0.46	0.44	0.46	0.46	0.46	0.49	0.49	0.50	0.52	0.52	0.53	0.52
事務的職業	0.40	0.36	0.36	0.37	0.38	0.40	0.42	0.42	0.43	0.44	0.46	0.47	0.46
販売の職業	1.62	1.59	1.59	1.66	1.71	1.76	1.8	1.83	1.89	1.99	1.97	1.98	1.92
サービスの職業	2.41	2.36	2.41	2.53	2.65	2.74	2.78	2.87	2.98	3.17	3.10	2.98	2.79
生産工程の職業	1.42	1.40	1.40	1.45	1.48	1.53	1.58	1.63	1.69	1.77	1.75	1.78	1.73
輸送・機械運転の職業	2.11	2.07	2.09	2.17	2.22	2.26	2.31	2.34	2.42	2.54	2.51	2.53	2.45
建設・採掘の職業	3.77	3.73	3.73	3.92	4.11	4.22	4.38	4.59	4.86	4.93	4.80	4.83	4.68

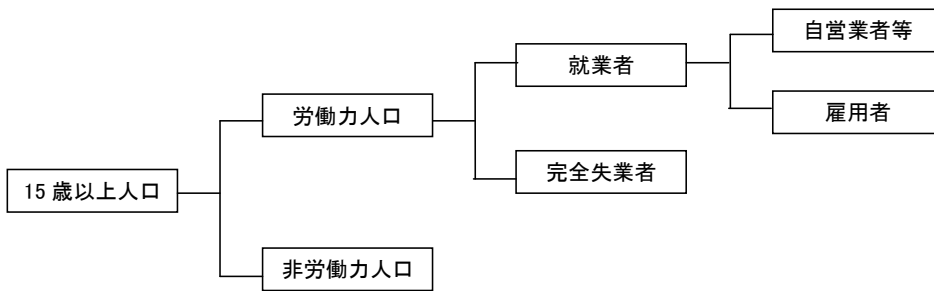
出典:厚生労働省:一般職業紹介状況より作成

【職業別有効求人倍率(除パート)の対前年同月比】

	2017年3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2018年1月	2月	3月
職業計	0.14	0.15	0.15	0.15	0.16	0.16	0.17	0.17	0.17	0.19	0.19	0.17	0.16
専門的・技術的職業	0.11	0.14	0.15	0.16	0.16	0.17	0.18	0.18	0.21	0.24	0.23	0.22	0.19
開発技術者	0.19	0.21	0.23	0.34	0.34	0.35	0.39	0.41	0.45	0.51	0.50	0.45	0.45
建築・土木・測量技術者	0.88	0.82	0.78	0.79	0.83	0.74	0.74	0.75	0.91	0.97	0.94	0.76	0.69
情報処理技術者	0.09	0.12	0.11	0.15	0.12	0.13	0.11	0.21	0.21	0.24	0.22	0.13	0.07
医師、歯科医師、獣医師、薬剤師	-0.72	-0.12	0.09	-0.15	-0.30	-0.35	-0.75	-0.62	-0.46	-0.23	-0.47	-0.53	-0.57
保健師、助産師、看護師	-0.14	-0.11	-0.12	-0.11	-0.13	-0.10	-0.08	-0.09	-0.07	-0.06	-0.05	-0.05	-0.10
医療技術者	-0.14	-0.11	-0.11	-0.10	-0.11	-0.13	-0.06	-0.06	-0.06	-0.07	-0.01	0.01	0.07
その他の保健医療の職業	0.18	0.15	0.16	0.15	0.20	0.19	0.21	0.27	0.32	0.37	0.34	0.29	0.27
社会福祉専門の職業	0.30	0.32	0.35	0.41	0.45	0.47	0.50	0.49	0.58	0.62	0.50	0.43	0.36
美術家、デザイナー、写真家	0.04	0.03	0.03	0.03	0.02	0.02	0.04	0.04	0.04	0.04	0.03	0.04	0.04
事務的職業	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05	0.06	0.06	0.06	0.06	0.06	0.06	0.06	0.06
販売の職業	0.22	0.23	0.22	0.22	0.25	0.24	0.27	0.27	0.30	0.32	0.29	0.31	0.30
サービスの職業	0.26	0.24	0.26	0.29	0.33	0.37	0.38	0.40	0.45	0.50	0.50	0.45	0.38
生産工程の職業	0.31	0.32	0.32	0.34	0.34	0.35	0.34	0.35	0.35	0.37	0.34	0.33	0.31
輸送・機械運転の職業	0.30	0.32	0.33	0.37	0.37	0.38	0.39	0.35	0.37	0.40	0.38	0.38	0.34
建設・採掘の職業	0.69	0.74	0.75	0.76	0.77	0.75	0.77	0.82	0.87	0.90	0.96	0.95	0.91

## <用語解説>

### 1. 労働力人口・就業者・雇用者・完全失業者



#### \* 労働力人口

15歳以上で働く意思と能力を持つ者。

#### \* 非労働力人口

15歳以上で働く意思や能力のない者。

#### \* 就業者

賃金、給料、諸手当、営業収益、手数料、内職収入など収入(現物収入を含む。)になる仕事を少しでもした者。

#### \* 完全失業者

仕事がなく仕事をしなかった者のうち、就業が可能でこれを希望し、かつ仕事を探していた者、および仕事があればすぐに就ける状態で過去に行った求職活動の結果を待っている者。

#### \* 自営業者

株式会社等の法人を設立せずに自ら事業を行っている者。

#### \* 雇用者

会社・団体・官公庁または自営業主や個人の家庭に雇われて給料・賃金を得ている者。

### 2. 就業率

「15歳以上の人口」に占める「就業者」の割合

### 3. 完全失業率

「労働力人口」に占める「完全失業者数」の割合

### 4. 有効求人倍率

有効求人数／有効求職者数(倍)

### 5. 新規求人倍率

新規求人数／新規求職者数(倍)

\*「新規求人」とは、その月に受け付けた求人をいい、前月から未充足のまま繰り越された求人と新規求人との合計を「有効求人」という。

### 6. 充足率

(就職件数／新規求人数) × 100 (%)